

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2018年9月1日 180号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## パンタナール研究所に鮮文大学の研究室開設



中田実所長(前列左から2人目)を中心に、研究室の聖別の儀式が行われた。右端の2名が鮮文大インターン生。7月30日



研究室はこの建物の2階の一角にある。

これまでパクーの養殖と人工孵化の指導のため、マグノ教授を派遣するなど、大いに協力してくれています。南北両半球の知恵、経験、技術、そして何より心と心が結ばれて、人類と生きものの新未来が拓かれて行きます。ぜひ応援しましょう。

究パートナーです。

この二名、イム君とミン君は、一昨年インターン生としてレダの現場で実地研究をした奥迫孝顕さん(上の写真、水色の服装)とともに、オニテナガエビをはじめとする水産養殖の研究に携わります。奥迫さんは夫人のカタリーナさんと、レダ開拓史上初めて夫婦そろって現場で歩んでいる若手研究者です。アスンシオン国立大学の獣医学部もまた、共同研究

を受けることもできるようになりました。去る一月、鮮文大水産生命医学科からレダ基地に派遣された權赫樞(クオン・ヒョクチュ)教授は、レダ基地の各現場を専門家の眼で丁寧に視察しました。そして七月には再度レダ基地を訪れ、学術、技術の指導をして行かれましたが、このとき二名の優秀なインターン生を伴って来られました。

七月末、レダ基地のパンタナール研究所二階に鮮文大大学校水産生命医学科の研究室が完成し、三十日の朝、聖別の儀式をもって、正式に運用が始まりました。隣には、すでに完成している教室があります。パラグアイ現地法人の南北米福地開発財団と鮮文大大学校は、昨年六月十四日、相互交流協力協約を結びました。(本紙一六七号記事参照)これにより、レダでは鮮文大より水産養殖の技術指導や支援を受ける事ができるようになりました。また同大を通して、韓国の国立水産研究所や養殖場などからも協力を受けることもできるようになりました。

**エビ養殖の本格共同研究へまた一步!**





(上) 提唱者、韓鶴子総裁のブラジルにおける講演会に、レダからバスに乗って参加した青年たち。8月4日  
(左) レダ基地に残ったメンバーはインターネットによる生中継を視聴。



今レダ基地では

今年もラパーチョが咲き始める。7月17日



貨客船アキダバンで出発する一行を見送る。7月27日



高橋さん、星野さん、ビエンさんがレダに到着。7月21日



チョリソを作る福島さん。7月14日



アロン君(右)の出発を見送る。8月7日



星野さんとアロン君のタロイモ掘り。



成長したアメリカレア。7月23日



河野さんと動物の子供たち。7月24日



マンゴーの結実。食べ頃は12月。8月7日



# 第十七回パンタナール一日研修会を開催

七月二十一日(土)、午前十時二十分から午後五時まで、東京都渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟四〇二号室において「第十七回パンタナール一日研修会(ワンデイセミナー)」を開催しました。当法人とNPO法人「地球の緑を守る会」の共催です。以下、後藤誠一実行委員長の報告を簡略的にまとめたものです。

講義室の定員は一二〇名で、先回の会場の約二倍でした。そのため、プロジェクター、スクリーン、音響装置等の諸設備が充実していて、聴く者にも語る者にも満足できる環境でした。

ただ、連日の危険な猛暑の中でのセミナーであったため、参加者たちにとっては大変な一日でもありました。それにもかかわらず、当日の参加申し込みもあつたほどの盛況で、参加者数は八八名に上りました。通常は座席のないスタツフ陣も、今回は着席して受講できたため、これを合わせると、受講者数は一〇四名を数え、過去最高となりました。

研修は、実行委員長(後藤)の挨拶に始まり、まず柴沼邦彦理事による「レバレンド・ムーンの思想とレダ開発」が、文先生の言葉・思想を中心に、レ



語る柴沼邦彦理事と、聴く参加者たち。7月21日



語る、高津啓洋NPO代表理事。



後藤誠一実行委員長

ダでの生活体験を交えて楽しく語られました。参加した古参会員の中からも、再度原点に立ち帰ることができて、本当によかったとの感想が聞かれました。

全体記念撮影の後、

青少年総合センター内の食堂で早めの昼食をとりました。



語る、岩澤春比古氏。



語る、中田欣宏理事長。

午後十時四十分から、地球の緑を守る会の高津啓洋代表理事による講義で始まりました。屋外でのフィールドワークは猛暑のため中止し、ポットの苗木を用いて研修会場内での説明となりました。

講義では文先生の環境問題に関する言葉を引用。参加者たちは強い関心を示し、熱心に受講していました。特に今回は、直近の西日本豪雨による山崩れの災害を取り上げ、その原因と対策、およびどうすれば自然豊かな森が形成されるかなど、人の生命や財産、自然環境や生活環境を守るための貴重な内容がありました。

続いて、高辻章子さんが「パンタナール讃歌」を独唱し、聴衆の心を南米の大自然へと誘いました。そして、昨年十一月よりレダ基地で活動し、近々夫人と娘さんを伴ってレダに移住する岩澤春比古氏から、レダでの生活を通じて感じた世界と、今後への決意が語られました。

次は、島田賢二青年局長から「レダに行く三つの道」というタイトルで、青年局の取り組みが説明され、その一つ「3+1」のプログラムに参加し、中期ボランティアとして、去る四月・五月にレダで奉仕した河野優樹君が、体験を語りました。その後、来る八月二十五日に出発する第



和やかに、全体での記念撮影。7月21日、青少年総合センター。撮影=石川仁



歌う、島田賢二青年局長(中)と青年たち。

十八回国際協力青年奉仕隊に参加する青年たちの紹介があり、現地の人々の前で歌うために練習したスペイン語の歌が披露されました。最後に、当法人の中田欣宏理事長により「レダにおける今後の展望」が語られ、参加者はレダに多くの希望を感じ、充実したセミナーとなりました。そして、スタツフの高橋容子さんから入会の案内があり、レダプロジェクトに尽力して下さっている高橋さんのお話と、青年奉仕隊員として昨年オリンピックとレダで活動した、谷津威徳君が感想を述べ、午後五時にすべてのプログラムを終了しました。

前回は、定員六〇名の会場に総勢一〇〇余名のすし詰め状態でしたが、今回は過去最高の参加者数となったにもかかわらず、快適な環境で気分よく受講することができました。

前回に続き、今回も二〇名以上の青年の参加があり、青年たちの体験談を聞いて、参加者たちは、今後に大きな希望を感じていました。ただ、セミナーの最後に予定されていた、各講師を中心とした分科会が、時間の都合で開けなかつたことが大変残念ではありました。

グッズの販売では、担当の山崎貴代子さんが、お嫁さん、お孫さんとお作られたしおりを出品するなど、売上アップに貢献してくれました。今後も引き続き、レダの現場と各地の支援部隊とが丸となつて、希望を育てるべく邁進して行きましょう。(四面に参加者の感想文があります)





## 第23回環境問題研究セミナーご案内

### 土壌学・環境科学の専門家 陽捷行先生三たび！

多くの皆様から熱望された陽捷行（みなみかつゆき）先生を三たびお迎えし、左記のとおり開催いたします。

日時 九月二十二日（土）午後一時半から

会場 川崎市、高津市民館第六会議室（東急田園都市線溝の口駅またはJR武蔵溝ノ口駅南ノクティ212階）

テーマ **生態系の破壊と生物多様性の減少（仮題）**

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会

参加費 無料 ただし会場の都合により、予め参加者の登録をしますので、ファックスまたはメールで、下記の当法人事務局宛てお申し込みください。

講師 第10回と第21回環境問題研究セミナーで私たちを大いに啓発してくださった、陽捷行先生です。皆様、お見逃しなくご参加ください。質疑応答の時間もあります。



語る陽先生。第10回=2015年5月10日

陽先生は土壌学・環境科学の専門家。日本土壌肥料学会の専門部会、環境庁長官賞・優秀賞、日経地球環境技術賞・大賞、日本農学賞・読売農学賞、国際大気汚染防止団体連合会（ICAP）の国際賞などを受賞。T. Lee 国際賞などを受賞。POCチーフリードオナーサーを務められました。現在（公財）農業・環境・健康研究所農学大学校校長。著書に、『土壌圏と大気圏』『地球環境変動と農林業』『環境保全と農林業』ほか多数。



語る陽先生。第21回=2018年3月17日

●第10回=2015年5月10日、テーマは「健康・土壌・人間・環境問題」本紙一四一四号記事参照。●第21回=本年3月17日、テーマは「世界の宗教と神話に土壌を読む」本紙一七六号記事参照。

### （三面より続く）参加者の感想文（抜粋）

●先輩方が全力を注がれたパンタナール。文先生から受けた一言を貫き通す、その姿に感動しました。レダを相続するために何が重要か！「青年の力が必要」ということで、これからは関心を寄せて尽力していきたいと思いました。（男性22歳）

●柴沼理事のお話は何度聞いても楽しく、安心して学べます。今回は二人の青年を連れてくる予定です。島田青年局長のお話はとても分かりやすかったです。我が子もいつ参加させられるかな、と考えることが出来ました。河野君の話は実際に奉仕に行かれて、どう感じられたか、青年の素直な感想が聞けて良かったです。（女性47歳）

●文先生がレダに諸先輩を送られた理由がわかりました。先輩たちの苦労の土台の上に、現在の若い世代が頑張っていることが大変希望です。人類の未来に重要なプロジェクトであることがわかりました。現在のあるいはこれからの職業観に重要と思いました。（男性71歳）

●これまでの歩みにおいて沢山の人が劣悪な環境の中で死に物狂いで努力した結果、失敗を繰り返しながらもここまで発展していることは本当に素晴らしいことであり、人間の力の大きさを考えさせられることだと思う。今回のセミナーを通して青年奉仕隊や支援活動にも興味をわいてきたので機会があったら是非参加し、レダを訪れたい。（女性16歳）

●柴沼先生、高津先生の情熱的でわかりやすい講義でその内容を深く理解することが出来ました。公害問題や環境問題を中心に取り組みたいと思います。植樹のこともとても参考になりました。（女性67歳）

●韓国にいる友人や同じ学科（鮮文大水産生命医学科）の友人と一緒に一度現地に行ってみようと思った。パンタナール・レダの地に福地を造るという志はすごいと思うし、実際に可能だと思えるので自分も何か出来ることをしたい。（男性20歳）

●パンタナールの植樹活動や養殖は本当に現地の人を愛している心で行っていることなんだということが伝わってきて、自分も頑張りたいと思いました。パンタナールの活動がいつかこの世界を救うことを信じています。（男性青年）

●ずっと年配の先生方だけでレダプロジェクトを進めて行くのは困難で、若い世代がもっと参加し、相続する必要があると思います。レダを知っている青年の一人として、まわりの仲間たちへシェアし、これからは関わり、サポートできるようにしたいと感じました。（女性24歳）

**一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局**

〒213-0001  
神奈川県川崎市高津区  
溝口3-11-15  
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821  
FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）  
記号10280 番号61349751  
一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: https://asd-nsa.com

**会員種別**

- ◆会員一口1000円/月
- ◆特別会員一口1万円/月
- ◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。  
会費振替用口座 ゆうちょ銀行  
**00290-5-113072**

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

**お便り募集**

ルリタデハ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局：  
**office@asd-nsa.com**  
へお願いします。